

# 今後の「線引き制度の政策的方向付け」を問う



村田 茂之  
(市政同志会2015)

◆区域区分（線引き）制度の政策的方向性について

**問** 今回何人も議員から質問があったが、平成12年の基本的な改定以来、国の最新の動向をどのように捉えているか。

**答** 国は、自治体の健全経営の観点から、道路、上水道、下水道等インフラの整備及び維持費用の増大を防ぐため、コンパクトシティ化に動いていると捉えている。

**問** 当市の第五次総合計画達成に向けて、土地は重要な経営資源であるにもかかわらず、市民や市の意向に沿えない状況は問題で、将来に向けて都市計画がどうあるべきか、方向性の決断をしていくべきではないか。

**答** 今議会は線引き制度を見直すいい機会になった。自治体にとって土地を自由にできないことは経営上も問題だが、圃場整備に多額の税金を投入してきた事実もあるし難しい課題を整備し今後、議会と議

論していきたい。

◆地域プラットフォーム事業とこれからの地域づくり

**問** 地域プラットフォームの基盤の一つとしての「地域ポインタ制」への見解は。

**答** 行政主導型から市民主導型に転換していく上で有効と捉えている。塩尻らしい仕組みを研究していきたい。

◆その他の質問事項  
企業連携協定、新体育館のコストとVE効果、民生児童委員制度等について質問した。



吉田地区を中心にした現在の区域区分地図

# 安全で安心な市民生活を



平間 正治  
(清風クラブ)

◆運転免許証返納高齢者支援

**問** 近年、高齢者の運転操作ミスによる事故が多発している。高齢者の中には危険性について承知しつつも、通院や買い物に必要なため手放せない方もいる。こうしたなかで、自主的に運転免許証を返納した方に対して、市としての支援が必要ではないか。

**答** NPOやボランティアなど、地域での支え合いを通じて、た外出支援策や他の自治体で行われている補助制度などを参考に、総合的に研究していく。

◆電線等地中化共同溝の安全管理

**問** 本市にも電線等を地下埋設した共同溝があるが、この安全管理はどのようになっているか。

**答** 道路管理者が定める管理規定等に基づき、占用者が監視及び点検を行っている。異常があった場合は、必要な措置を講じることとしている。

◆劣化した下水道管による道路陥没対策

**問** 全国では、年間約3千300件の下水道管劣化による道路陥没事故が発生している。本市では老朽管対策や安全点検をどのように行っているか。

**答** 「塩尻市下水道長寿命化計画」に基づき、平成24年度から国の補助を受けて老朽管対策工事を実施している。また、安全点検は道路面に不平等沈下が見られた時など、下水道管路内をカメラで調査し、修繕している。

◆その他の質問事項  
平成29年度予算編成について、特色ある地域づくりについて質問した。



下水道管老朽管補強工事